



高村京子県議会報告

2022年6月議会

「盛土条例」可決 リニア工事関連の盛土も対象に

「長野県土砂等の盛土等の規制に関する条例」が、全会一致で可決しました。

これは、盛土を行うもの・土地所有者・県の責務を明らかにし、土砂等の崩落など災害の発生を防止する内容です。土地の面積が3000㎡以上、または高さが5m以上が対象で、知事の許可が必要。国・地方公共団体自ら行う盛土や行政庁の許認可を受けている場合は対象外です。

申請手数料1件5万5千円。罰則は3万円

から最大2年以下の懲役、または100万円。施行は来年1月1日から。リニア工事関連の盛土も対象となります。

毛利県議の一般質問でリニア残土候補地34か所中、土砂災害の恐れのある箇所は19か所あるとの答弁です。阿部知事はJR東海や関係市町村に説明や対応を求めると言いますが、まず県が率先して土砂災害を未然に防ぐ対応をとるべきです。



危機管理建設委員会 6月27日～29日

リニア関連での関係者や住民の皆さんが盛土の災害への不安、土砂運搬ダンプカーの激しい往来での住環境の不安、水源の枯渇や異常出水の不安、3000m級の南アルプストーンネル工事は多くの活断層を横切ることの危険・環境破壊、リニアは電力が新幹線の3～4倍も必要。巨大地震が起きた時の安全は、などなどリニアへの不安や疑問の切実な声が寄せられています。

県はこの声に真剣に向き合いリニア推進姿勢ではなく、慎重に対応すべきと建設委員会で質しました。

危機管理部では、豪雨や台風のシーズンとなり、避難所の環境改善をさらに進めるよう求めました。さらに障がい者も安心して避難できるよう、健康福祉部との連携で福祉避難所の充実も求めました。

危機管理部の説明では、「避難所TKB環境改善向上プロジェクト」として県下77市町村への避難所改善事業を実施。Tはトイレ、Kはキッチン、Bはベッドの頭文字で、48時間以内に仮設トイレ・キッチンカー・段ボールベッドを避難所に届けるよう呼びかけ、補助をします。快適トイレは3年間で75基、キッチンカーは運営する事業者と連携促進、段ボールベッドは協定や備蓄で3日以内に3万個確保を目指すとしています。

危機管理建設委員会現地調査

7月4日～6日

北信～長野～上小の建設現場等の視察と各建設事務所、保健所等からの説明。合同庁舎の概況説明の前には各市町村長からの陳情がありました。

道路の改良、歩道の確保、台風被害対策・河川の改修など生活の安全を守るための多数の要望が陳情されました。緊急を要する箇所の改良事業の実施が求められています。



上田合同庁舎にて上田建設事務所と上田保健所からの説明を受ける委員（7月6日）



須坂の千曲川支流、鮎川の堤防強化工事。地元の小林君真良議員も参加（7月5日）



豊田中野線笠倉壁田橋の建設現場（7月4日）

日本共産党県議会報告

No. 13 2022年8月 【2022年6月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266（直通） FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

